

がんとともに働く がんとともに生きる、寄り添う

日本はいま、生涯で2人に1人ががんになり、年間死亡者の死因の3割をがんが占める時代です。一方でがんは、治療やその後の検査を受けながら「付き合っていく病」に変わりつつあります。定年延長や女性の社会進出で、男女ともに働きながらがん治療をする人が増えています。がん対策に力を入れる企業、働き方改革やダイバーシティ推進、健康経営を積極推進する企業の事例をご紹介します。課題も共有します。そして、誰もがともに働ける社会のあり方について議論していきます。



2021年2月4日(木) 13:30~16:50

PROGRAM

コロナ禍におけるがんとその共生を考える

13:30~13:40 MC / 主催者あいさつ

コロナ禍でのがんとその共生

鼎談①

がんとコロナの専門医に、患者を取り巻く環境・治療について最新情報を伺います。

13:40~14:25

講師 大曲 貴夫 先生 (国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長 国際診療部長)
勝俣 範之 先生 (日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科 教授)

(五十音順)

コメンテーター: 辻 外記子 (朝日新聞編集委員)



大曲 貴夫先生

徹底解剖！ がんとコロナのリアル

日々患者と接する医師、感染症の予防対策・新しい働き方への対応を求められている会社、がんとコロナ、2つの不安を抱えながら働いているがん患者。

オンラインがベースとなりコミュニケーションが希薄になっている現在、

お互いが抱えている不安や疑問を共有し、

それらをどう解決していくか考える機会を目指します。

パネル
ディスカッション

14:25~15:05

講師 勝俣 範之 先生 (日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科 教授)
鈴木 美穂 氏 (認定NPO法人マギーズ東京共同代表 一般社団法人CancerX共同発起人・理事)、他

(五十音順)

コメンテーター: 上野 創 (朝日新聞編集委員)



勝俣 範之先生

15:05~15:10 MC

新しい働き方とがん対策

一歩進んだ取り組みやがん就労サポートプログラムに取り組む企業、またコロナ禍の中で働き方改革を推進し、「がん」に限らず病気になっても柔軟に働ける先進企業事例を紹介します。

鼎談②

15:10~15:40

15:40~15:45 MC / 総括



鈴木 美穂氏

※ プログラム・タイトルは変更となる可能性があります。 ※ 時間など多少変更する場合がございますのでご了承ください。 ※ 詳細・申し込み方法は裏面へ。

主催: 公益財団法人日本対がん協会、株式会社朝日新聞社
後援: ザ・ファイントン・ポスト・ジャパン株式会社

協賛: 第一三共株式会社

協力: 大鵬薬品工業株式会社、アストラゼネカ株式会社、エグザクトサイエンス株式会社